

**製品名: リン酸化 SMAD5 (Ser463/Ser465) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87435**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:52 kDa; Observed MW:60 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-SMAD5
別名	DWFC; JV5-1; MADH5
遺伝子 ID	4090
SwissProt ID	Q99717
免疫原	ヒト SMAD5 の Ser463/Ser465 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

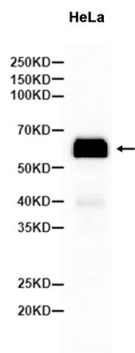
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、造血前駆細胞の増殖を阻害する形質転換成長因子  $\beta$  シグナル伝達経路に関与してい

ます。コードされるタンパク質は骨形成タンパク質 1 型受容体キナーゼによって活性化され、がんに関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ホスホ SMAD5 (Ser463/Ser465) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。